

第116回

トラック運送業界の景況感（速報）

令和3年10月～12月期

日銀短観（12月調査）の大企業・製造業の業況判断指数はプラス18と9月の前回調査から横ばいで、緊急事態宣言の解除などを背景に非製造業は7ポイント上昇のプラス9となり、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年12月以来の高水準となった。

トラック運送業においては、燃料価格上昇によるコスト増加の影響を受け、営業利益及び経常利益が圧迫されたため、令和3年10月～12月期の景況感は▲21.0(前回▲28.7)と、マイナス水準が継続している。

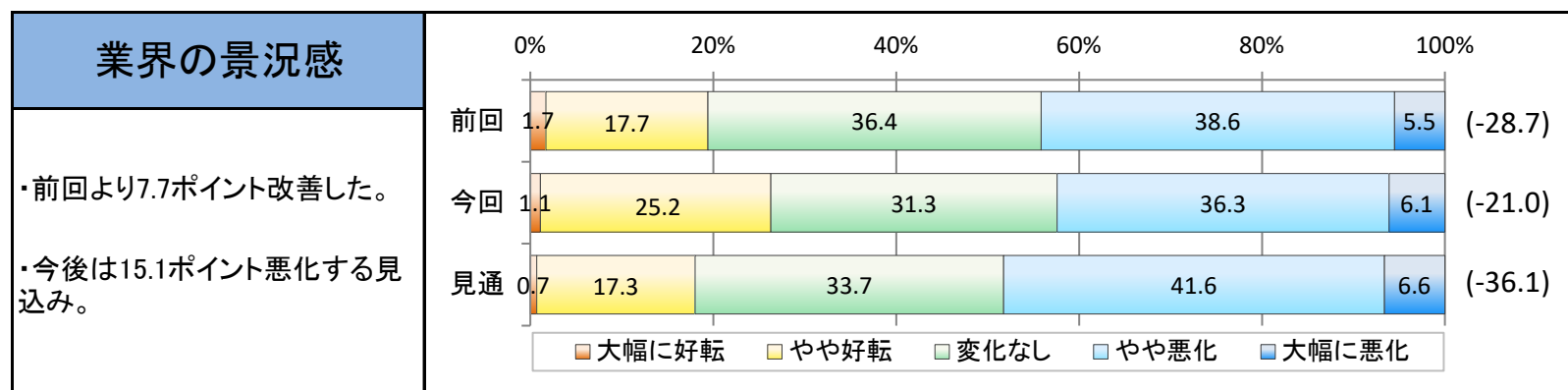
なお、今後の見通しは、オミクロン株の感染拡大による経済活動への影響や燃料価格の高止まり等のマイナス要因を織り込み、業界の景況感の見通しは▲36.1(今回▲21.0)と、15.1ポイント悪化する見込みである。

令和4年2月14日

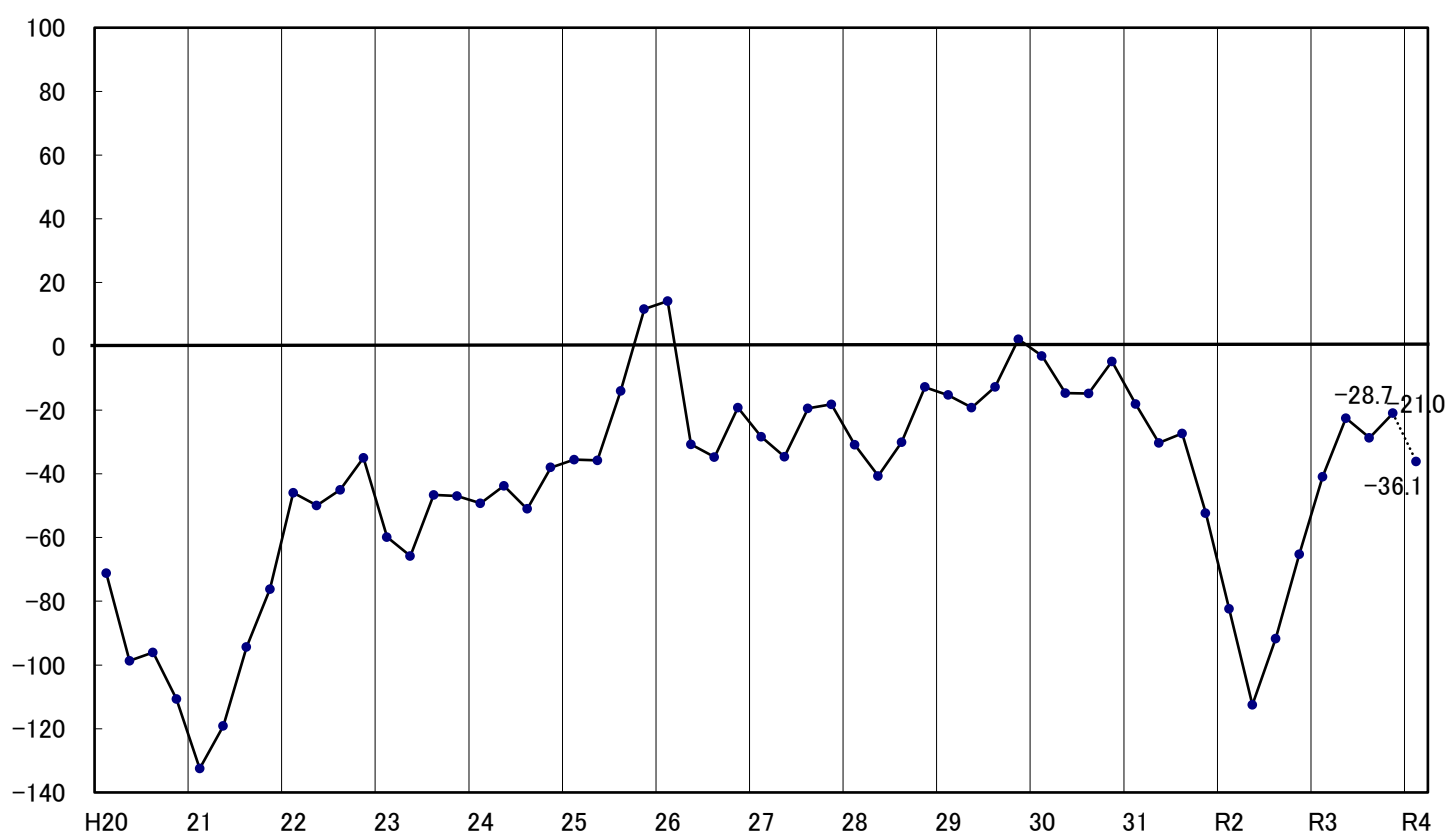
公益社団法人 全日本トラック協会

1 業界の景況感:今回(令和3年10月~12月期)の概況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 業界の景況感は「好転」とした事業者は26.3%(前回19.4%)、「悪化」とした事業者は42.4%(前回44.1%)で、判断指標は▲21.0(前回▲28.7)と、マイナス水準が継続している。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 今後の見通しは、燃料価格の高止まりを織り込み、▲36.1(今回▲21.0)と、15.1ポイント悪化する見込みである。



トラック運送業界の景況感の推移(H20以降)



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(R3.7月~9月期)の状況、中段は今回(R3.10月~12月期)の状況、下段は今後(R4.1月~3月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい」は0、「やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

$$A(\text{設問Aの回答者数}) = a1+a2+a3+a4+a5(\text{設問Aの選択肢1~5の回答数の和})$$

$$\text{指標} = \{(+2 \times a1) + (+1 \times a2) + (0 \times a3) + (-1 \times a4) + (-2 \times a5)\} \div A \times 100$$

2 共通の概況①:今回(令和3年10月～12月期)の状況と今後の見通し

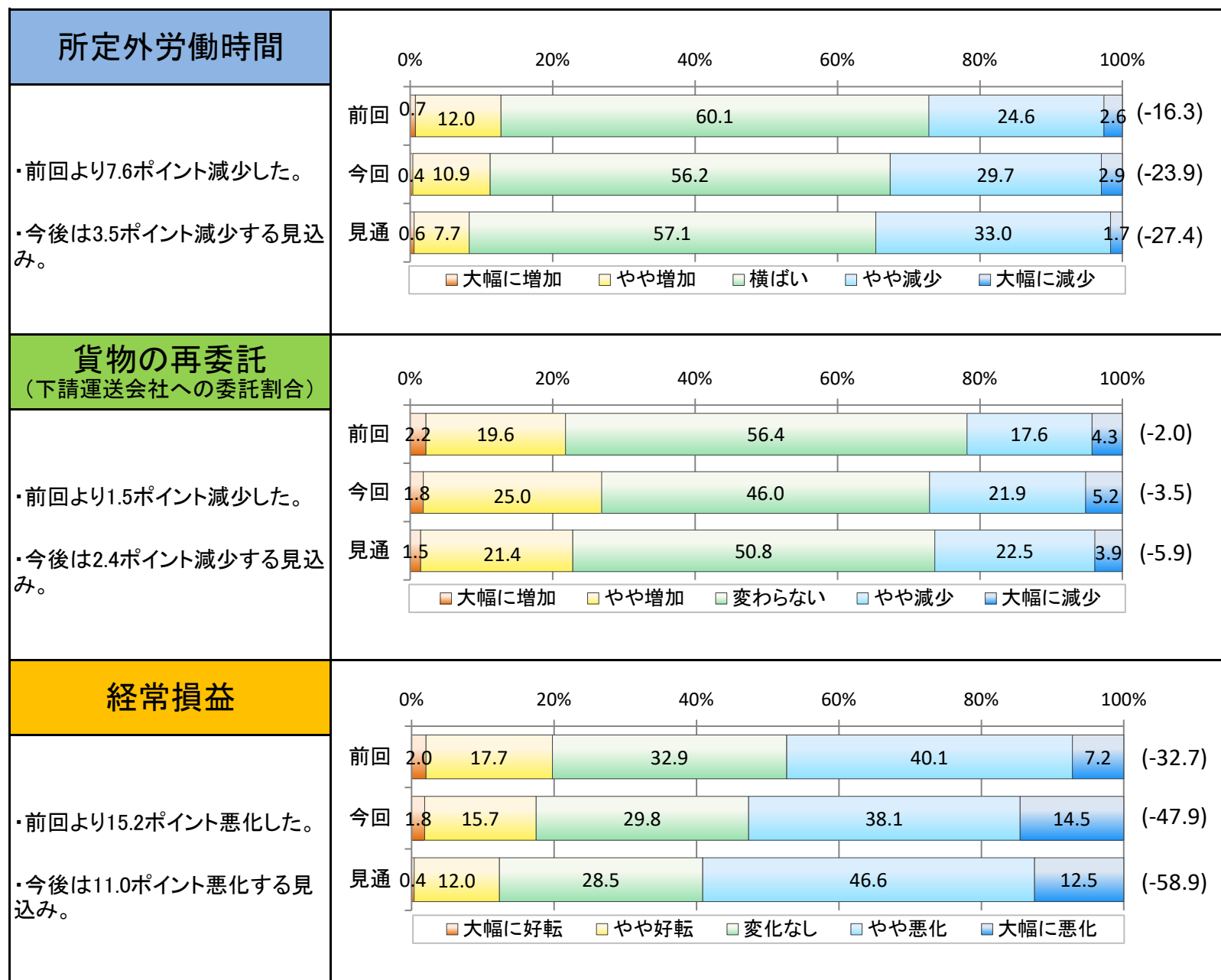
今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲7.9(前回▲10.0)と2.1ポイント改善、実車率は▲7.7(前回▲3.7)と4.0ポイント悪化した。 ・ 採用状況は0.7(前回▲0.9)と1.6ポイント上昇したものの、雇用状況(労働力の不足感)は62.2(前回59.1)と3.1ポイント上昇し、労働力の不足感が強くなった。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲19.3(今回▲7.9)と11.4ポイント悪化、実車率は▲19.3(今回▲7.7)と11.6ポイント悪化の見込みである。 ・ 採用状況は▲8.8(今回0.7)と9.5ポイント低下、雇用状況(労働力の不足感)は70.7(今回62.2)と8.5ポイント上昇し、労働力の不足感が強くなる見込みである。

実働率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや低下</th> <th>大幅に低下</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.7</td> <td>21.3</td> <td>49.9</td> <td>23.5</td> <td>4.6</td> <td>(-10.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>26.7</td> <td>43.5</td> <td>25.0</td> <td>4.8</td> <td>(-7.9)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.0</td> <td>19.9</td> <td>44.4</td> <td>32.2</td> <td>3.5</td> <td>(-19.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大幅に低下	差	前回	0.7	21.3	49.9	23.5	4.6	(-10.0)	今回	0.0	26.7	43.5	25.0	4.8	(-7.9)	見通	0.0	19.9	44.4	32.2	3.5	(-19.3)
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大幅に低下	差																							
前回	0.7	21.3	49.9	23.5	4.6	(-10.0)																							
今回	0.0	26.7	43.5	25.0	4.8	(-7.9)																							
見通	0.0	19.9	44.4	32.2	3.5	(-19.3)																							
実車率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや低下</th> <th>大幅に低下</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.7</td> <td>20.7</td> <td>56.2</td> <td>18.9</td> <td>3.5</td> <td>(-3.7)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>22.7</td> <td>49.9</td> <td>24.5</td> <td>2.9</td> <td>(-7.7)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.4</td> <td>15.3</td> <td>53.0</td> <td>27.3</td> <td>4.1</td> <td>(-19.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大幅に低下	差	前回	0.7	20.7	56.2	18.9	3.5	(-3.7)	今回	0.0	22.7	49.9	24.5	2.9	(-7.7)	見通	0.4	15.3	53.0	27.3	4.1	(-19.3)
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大幅に低下	差																							
前回	0.7	20.7	56.2	18.9	3.5	(-3.7)																							
今回	0.0	22.7	49.9	24.5	2.9	(-7.7)																							
見通	0.4	15.3	53.0	27.3	4.1	(-19.3)																							
採用状況	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>変わらない</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.4</td> <td>18.9</td> <td>62.1</td> <td>16.8</td> <td>1.8</td> <td>(-0.9)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.8</td> <td>17.9</td> <td>62.1</td> <td>15.7</td> <td>2.6</td> <td>(0.7)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.4</td> <td>17.3</td> <td>59.5</td> <td>18.8</td> <td>4.1</td> <td>(-8.8)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	変わらない	やや減少	大幅に減少	差	前回	0.4	18.9	62.1	16.8	1.8	(-0.9)	今回	1.8	17.9	62.1	15.7	2.6	(0.7)	見通	0.4	17.3	59.5	18.8	4.1	(-8.8)
項目	大幅に増加	やや増加	変わらない	やや減少	大幅に減少	差																							
前回	0.4	18.9	62.1	16.8	1.8	(-0.9)																							
今回	1.8	17.9	62.1	15.7	2.6	(0.7)																							
見通	0.4	17.3	59.5	18.8	4.1	(-8.8)																							
雇用状況 (労働力の不足感)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>不足</th> <th>やや不足</th> <th>適当</th> <th>やや過剰</th> <th>過剰</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>10.4</td> <td>44.4</td> <td>39.9</td> <td>4.8</td> <td>0.6</td> <td>(59.1)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>13.8</td> <td>41.3</td> <td>39.8</td> <td>3.7</td> <td>1.5</td> <td>(62.2)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>17.3</td> <td>43.8</td> <td>32.2</td> <td>5.5</td> <td>1.1</td> <td>(70.7)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	不足	やや不足	適当	やや過剰	過剰	差	前回	10.4	44.4	39.9	4.8	0.6	(59.1)	今回	13.8	41.3	39.8	3.7	1.5	(62.2)	見通	17.3	43.8	32.2	5.5	1.1	(70.7)
項目	不足	やや不足	適当	やや過剰	過剰	差																							
前回	10.4	44.4	39.9	4.8	0.6	(59.1)																							
今回	13.8	41.3	39.8	3.7	1.5	(62.2)																							
見通	17.3	43.8	32.2	5.5	1.1	(70.7)																							

(注4)雇用状況については、上段は前回(R3.7月～9月期)の状況、中段は今回(R3.10月～12月期)の状況、下段は今後(R4.1月～3月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

3 共通の概況②:今回(令和3年10月～12月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲23.9(前回▲16.3)と7.6ポイント減少、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲3.5(前回▲2.0)と1.5ポイント減少した。 経常損益は燃料価格上昇によるコストアップが影響し、▲47.9(前回▲32.7)と15.2ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲27.4(今回▲23.9)と3.5ポイント減少、貨物の再委託は▲5.9(今回▲3.5)と2.4ポイント減少する見込みである。 経常損益は燃料価格の高止まりによりコストアップの見込みを織り込み、▲58.9(今回▲47.9)と11.0ポイント悪化する見込みである。



【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第116回調査は、令和4年1月10日に、モニターに対して調査開始、令和4年1月31日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
133	525	543

※特積133者中、18者が一般貨物輸送に従事。

4 一般貨物:今回(令和3年10月~12月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲6.5(前回▲6.4)と横ばいとなったものの、運賃・料金の水準は▲1.7(前回▲9.9)と8.2ポイント改善し、営業収入(売上高)は▲1.7(前回▲3.5)と1.8ポイント改善した。 営業利益は▲47.2(前回▲27.0)と20.2ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲19.6(今回▲6.5)と13.1ポイント悪化、運賃・料金の水準は▲2.3(今回▲1.7)と0.6ポイント悪化し、営業収入(売上高)は▲25.5(今回▲1.7)と23.8ポイント悪化する見込みである。 営業利益は▲56.8(今回▲47.2)と9.6ポイント悪化する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 2.3 29.6 33.3 29.0 5.8 (-6.4)</p> <p>今回 1.9 29.5 32.4 32.6 3.6 (-6.5)</p> <p>見通 0.6 22.5 39.2 32.2 5.5 (-19.6)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.4 8.6 74.5 13.8 2.7 (-9.9)</p> <p>今回 12.0 76.4 9.5 2.1 (-1.7)</p> <p>見通 13.9 72.2 11.6 2.3 (-2.3)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 3.1 29.8 33.5 27.8 5.8 (-3.5)</p> <p>今回 1.1 28.4 39.8 29.0 1.7 (-1.7)</p> <p>見通 18.9 43.0 31.8 6.3 (-25.5)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.9 21.4 34.4 32.1 10.1 (-27.0)</p> <p>今回 1.1 16.2 33.0 33.7 16.0 (-47.2)</p> <p>見通 0.4 9.9 34.3 43.4 12.0 (-56.8)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>

5 宅配貨物:今回(令和3年10月~12月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、輸送数量は12.1(前回26.1)と14.0ポイント悪化、運賃・料金の水準は10.3(前回13.0)と2.7ポイント悪化したことから、営業収入(売上高)は3.4(前回30.4)と27.0ポイント悪化した。 営業利益は▲12.1(前回34.8)と46.9ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、輸送数量は▲3.4(今回12.1)と15.5ポイント悪化、運賃・料金の水準は▲10.3(今回10.3)と20.6ポイント悪化し、営業収入(売上高)は▲22.4(今回▲3.4)と25.8ポイント悪化する見込みである。 営業利益は▲27.6(今回▲12.1)と15.5ポイント悪化する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 34.8 56.5 8.7 (26.1)</p> <p>今回 5.2 27.6 46.6 15.5 5.2 (12.1)</p> <p>見通 5.2 17.2 51.7 20.7 5.2 (-3.4)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 17.4 78.3 4.3 (13.0)</p> <p>今回 10.3 89.7 (10.3)</p> <p>見通 5.2 79.3 15.5 (-10.3)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 39.1 52.2 8.7 (30.4)</p> <p>今回 5.2 29.3 39.7 15.5 10.3 (3.4)</p> <p>見通 5.2 13.8 44.8 25.9 10.3 (-22.4)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 43.5 47.8 8.7 (34.8)</p> <p>今回 24.1 50.0 15.5 10.3 (-12.1)</p> <p>見通 13.8 50.0 31.0 5.2 (-27.6)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>

※ 宅配貨物に関する回答事業者は一部に限定され、また回答サンプル数が少ないため、上記調査結果は宅配貨物を網羅的に評価した結果となっていない場合がある。

6 宅配以外の特積貨物:今回(令和3年10月~12月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は▲14.0(前回11.4)と25.4ポイント悪化、運賃・料金の水準は▲12.4(今回▲5.7)と6.7ポイント悪化したことから、営業収入(売上高)は▲19.6(前回8.6)と28.2ポイント悪化した。 ・ 営業利益は▲36.4(前回0.0)と36.4ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は▲27.1(今回▲14.0)と13.1ポイント悪化、運賃・料金の水準は▲28.0(今回▲12.4)と15.6ポイント悪化することから、営業収入(売上高)は▲33.6(今回▲19.6)と14.0ポイント悪化する見込みである。 ・ 営業利益は▲47.7(今回▲36.4)と11.3ポイント悪化する見込みである。

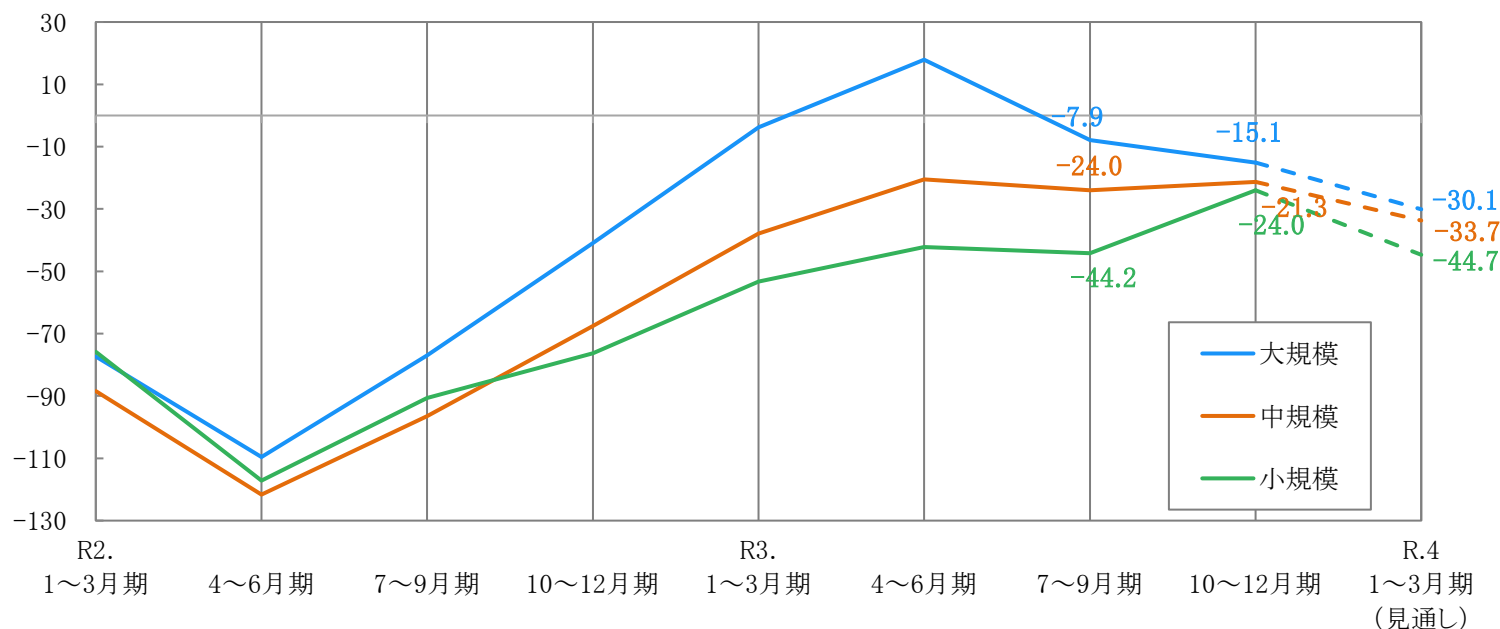
輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 37.1 37.1 25.7 (11.4)</p> <p>今回 21.5 43.0 35.5 (-14.0)</p> <p>見通 15.9 43.0 39.3 1.9 (-27.1)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 8.6 77.1 14.3 (-5.7)</p> <p>今回 13.3 61.0 25.7 (-12.4)</p> <p>見通 6.5 60.7 30.8 1.9 (-28.0)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 25.7 57.1 17.1 (8.6)</p> <p>今回 18.7 43.0 38.3 (-19.6)</p> <p>見通 12.1 43.9 42.1 1.9 (-33.6)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 17.1 65.7 17.1 (0.0)</p> <p>今回 15.9 37.4 41.1 5.6 (-36.4)</p> <p>見通 6.5 43.9 44.9 4.7 (-47.7)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>

7 事業者特性格別の特徴①:規模別・品目別 業界の景況感

規模 (注5)

- ・大規模事業者：▲15.1(前回▲7.9)と7.2ポイント悪化、今後は▲30.1と15.0ポイント悪化見通し。
- ・中規模事業者：▲21.3(前回▲24.0)と2.7ポイント改善、今後は▲33.7と12.4ポイント悪化見通し。
- ・小規模事業者：▲24.0(前回▲44.2)と20.2ポイント改善、今後は▲44.7と20.7ポイント悪化見通し。

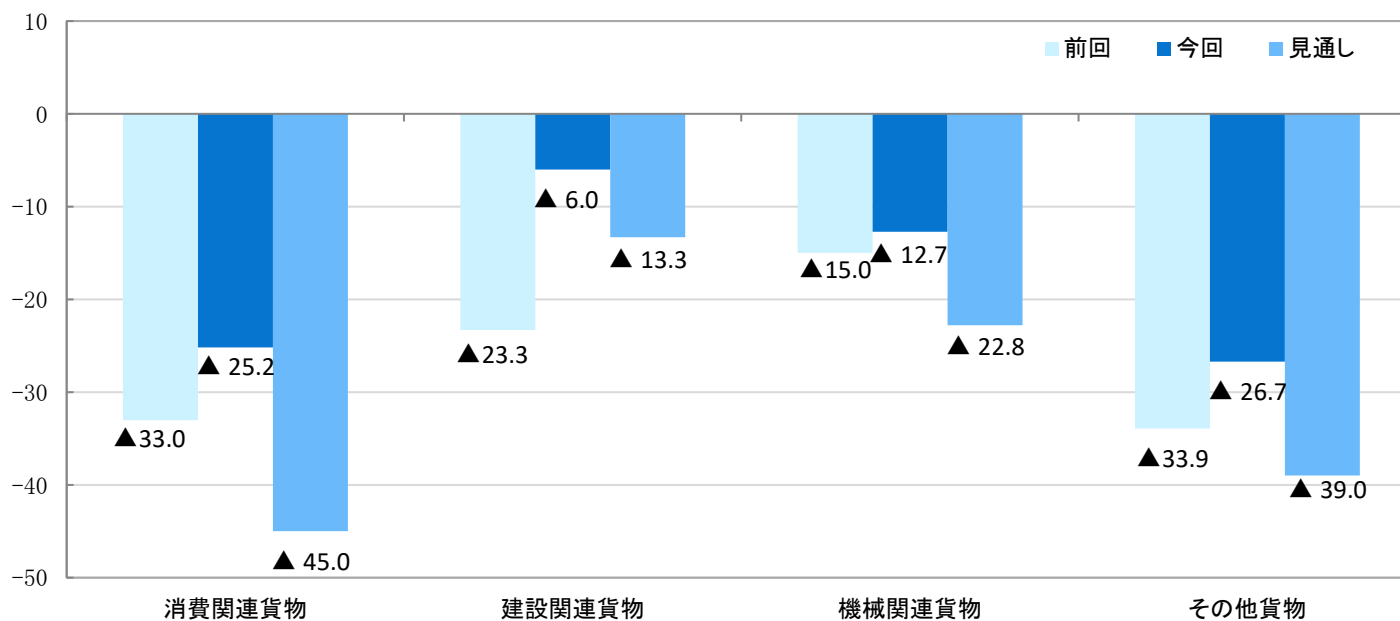
事業規模別 業界の景況感に関する指標の推移 (R2.1～3月期より)



品目 (注6)

- ・消費関連貨物：▲25.2(前回▲33.0)と7.8ポイント改善、今後は▲45.0と19.8ポイント悪化見通し。
- ・建設関連貨物：▲6.0(前回▲23.3)と17.3ポイント改善、今後は▲13.3と7.3ポイント悪化見通し。
- ・機械関連貨物：▲12.7(前回▲15.0)と2.3ポイント改善、今後は▲22.8と10.1ポイント悪化見通し。
- ・その他貨物：▲26.7(前回▲33.9)と7.2ポイント改善、今後は▲39.0と12.3ポイント悪化見通し。

品目別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

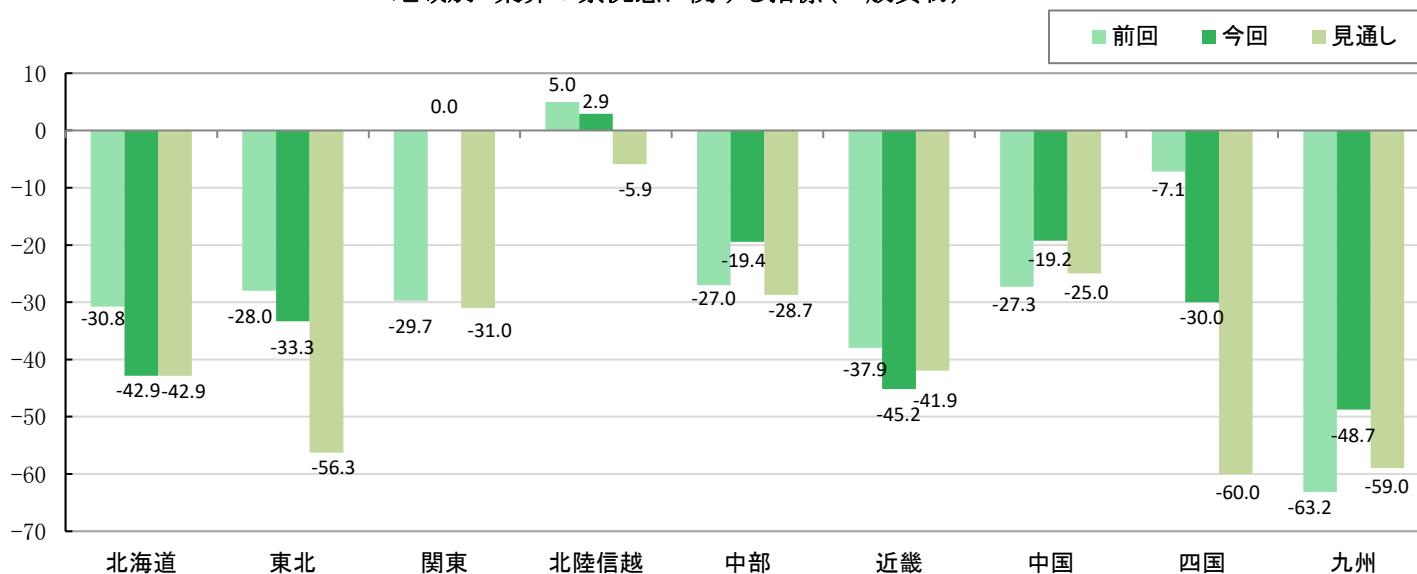
品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

7 事業者特性格別の特徴②: 地域別・事業形態別 業界の景況感等

地域 (注7)

- 地域別にみると、関東、中部、中国、九州が改善した。
- 来期の見通しは、近畿が改善する見通しである。

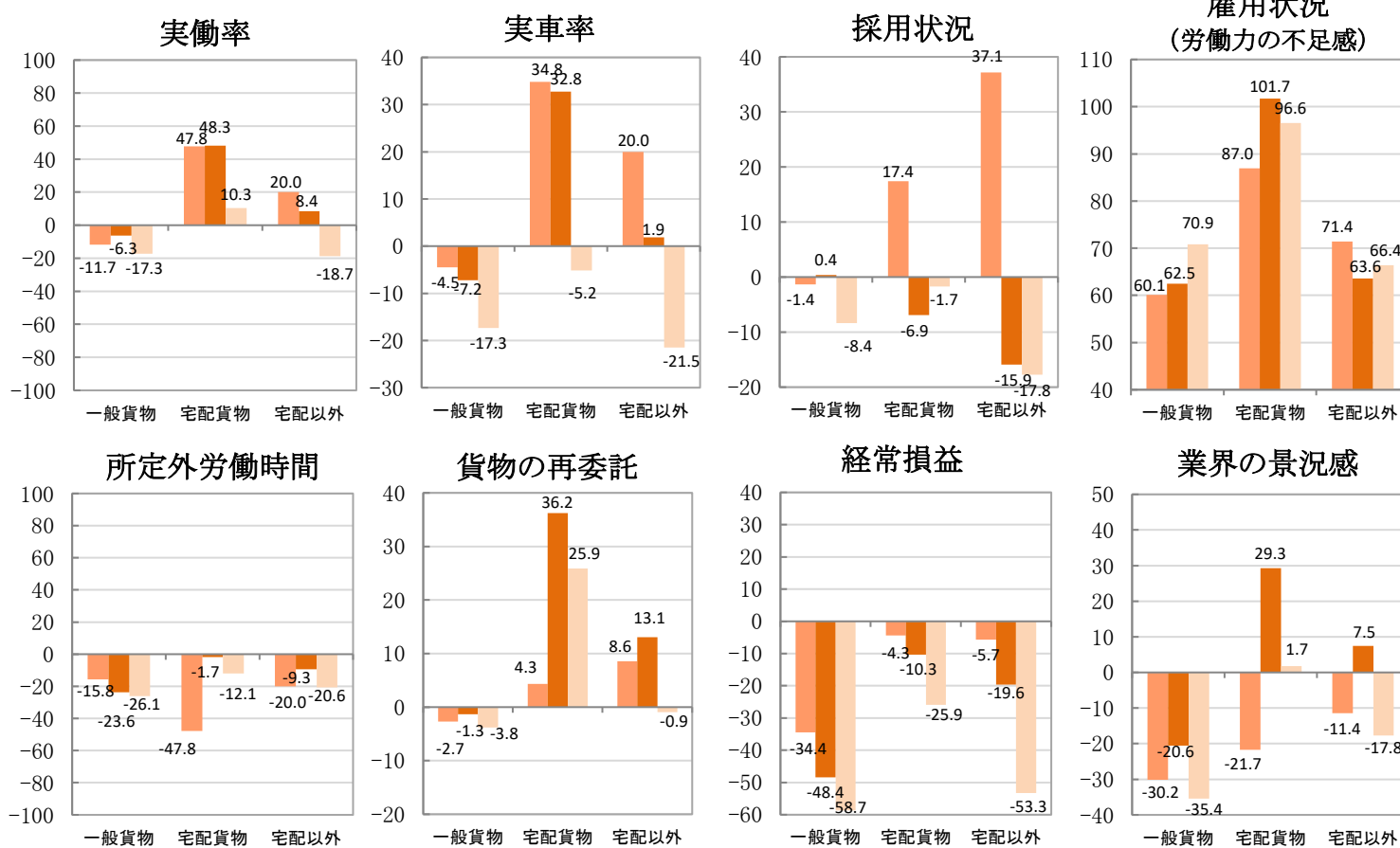
地域別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



事業形態別 (注8)

- 宅配貨物においては、荷動きが活発化すると同時に、人材の不足感が徐々に強くなっている。
- 燃料価格の高止まりによるコストアップが影響し、経常損益は悪化した。

前回 今回 見通し

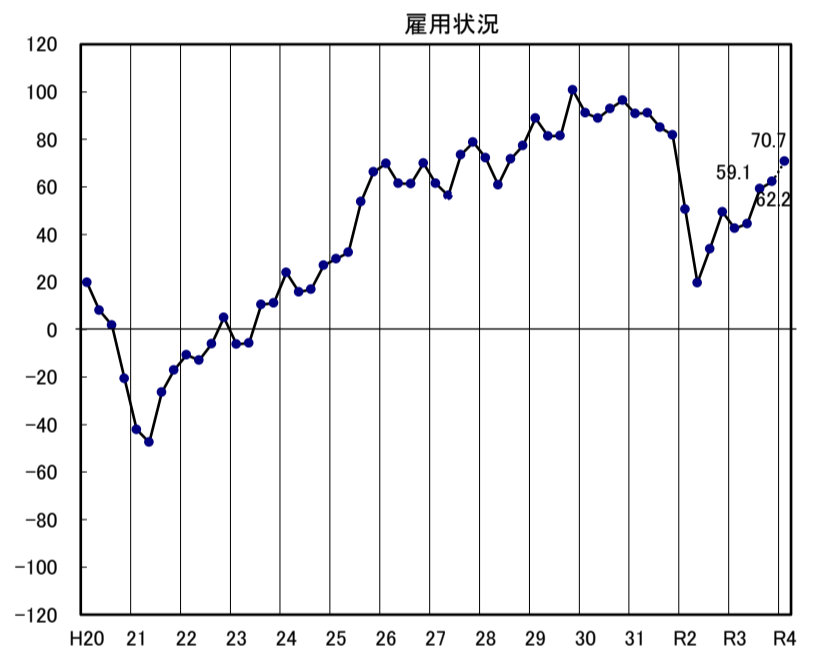
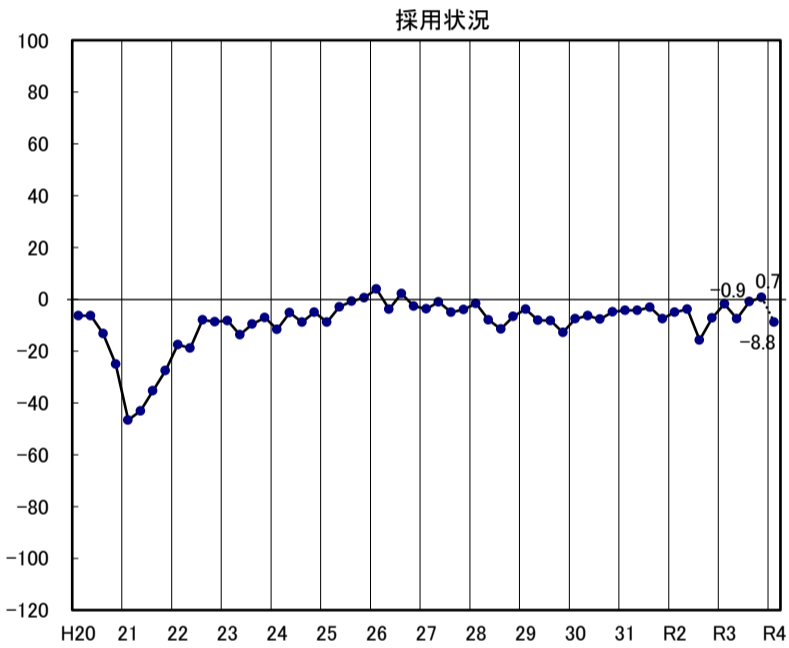
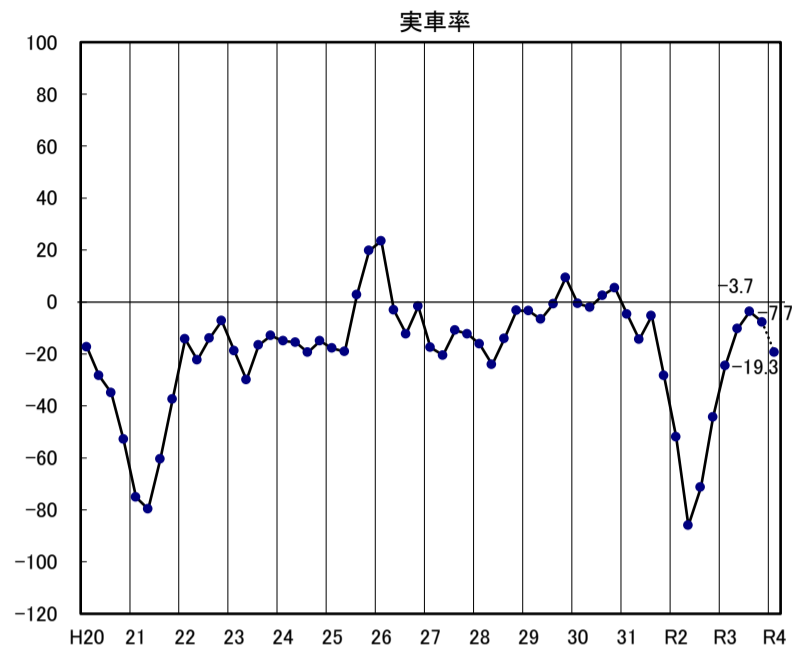
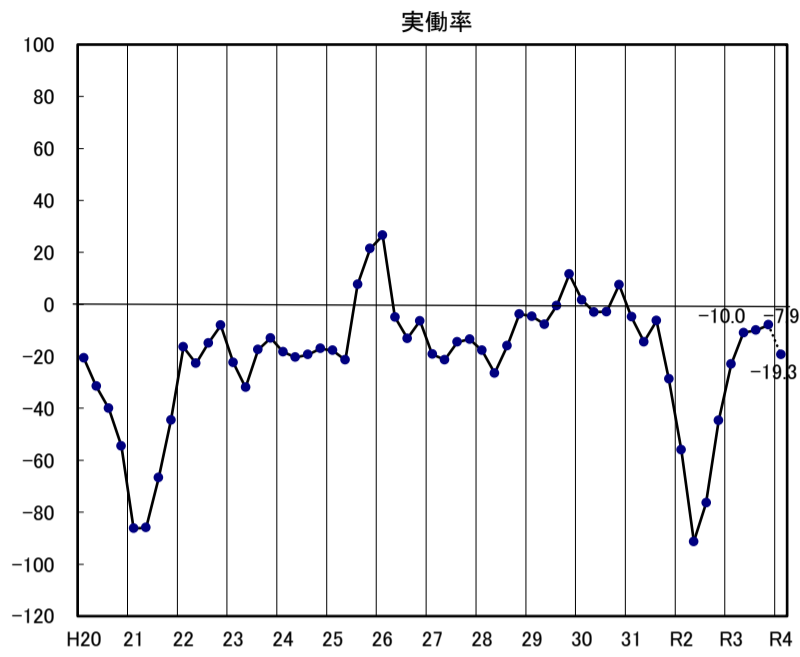


(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

8 業況判断指標の推移(平成20年～令和3年度第4四半期見通し)

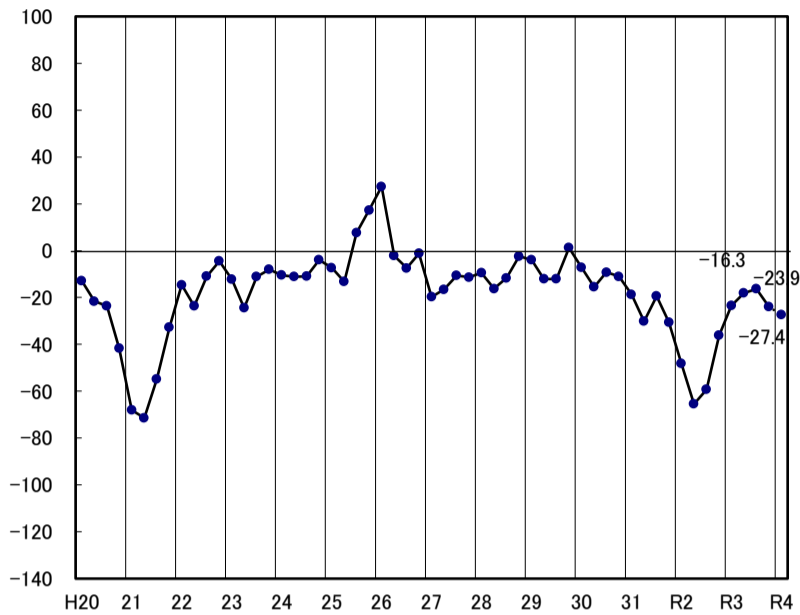
共通の概況①



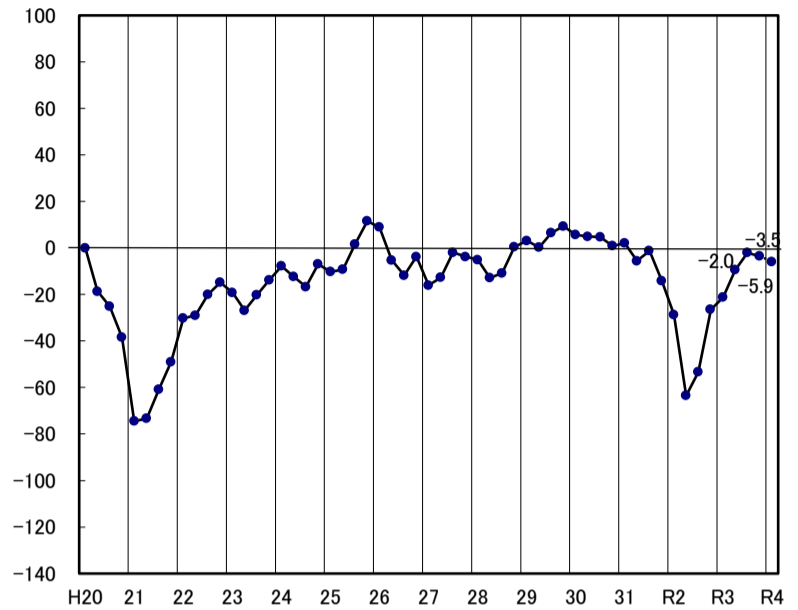
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和3年度第4四半期見通し)

共通の概況②

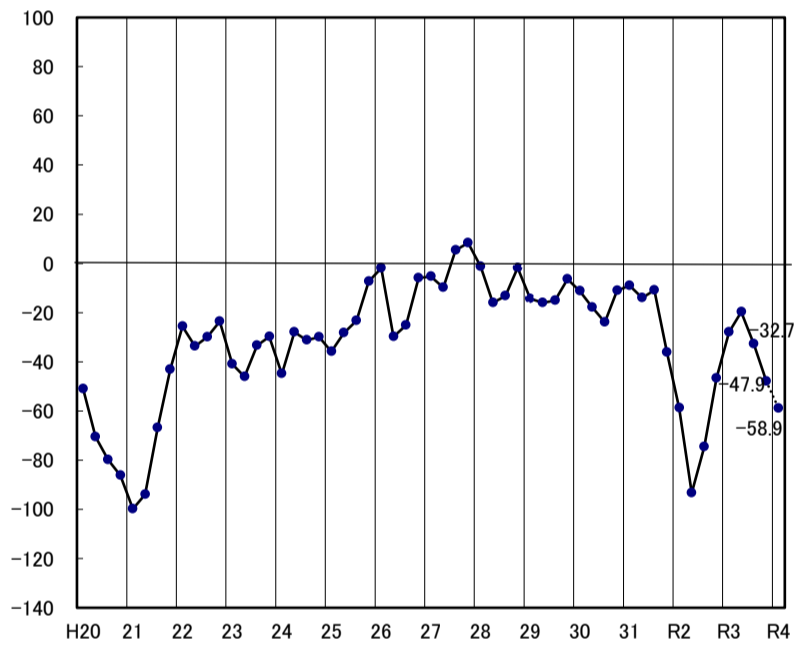
所定外労働時間



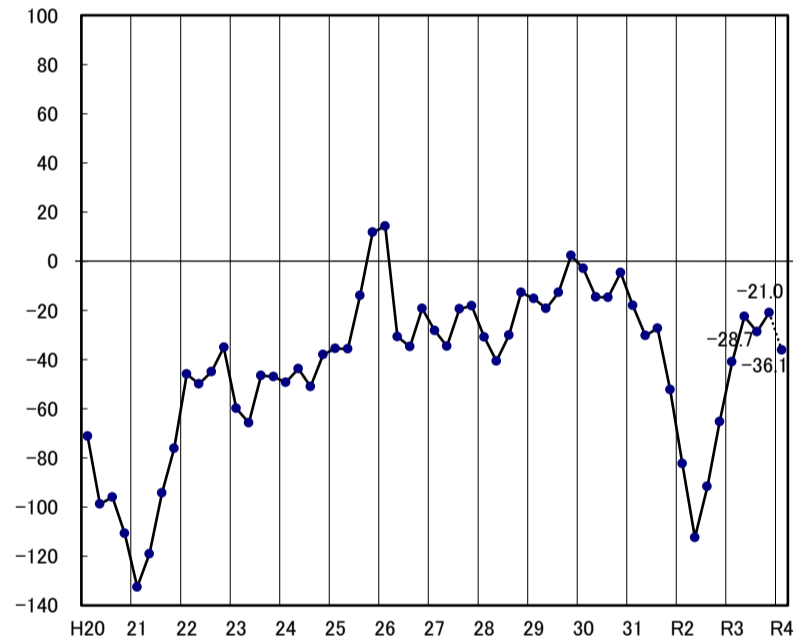
貨物の再委託



経常損益

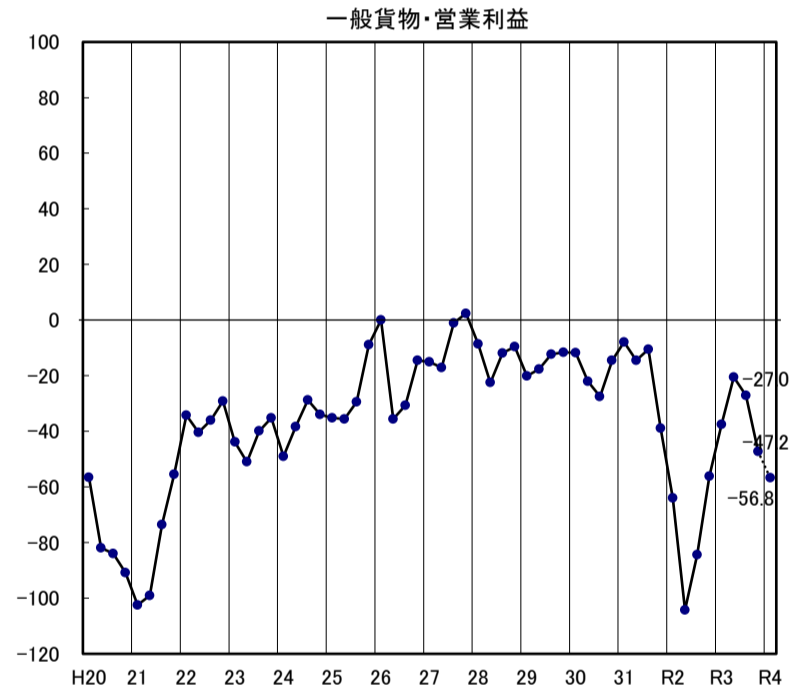
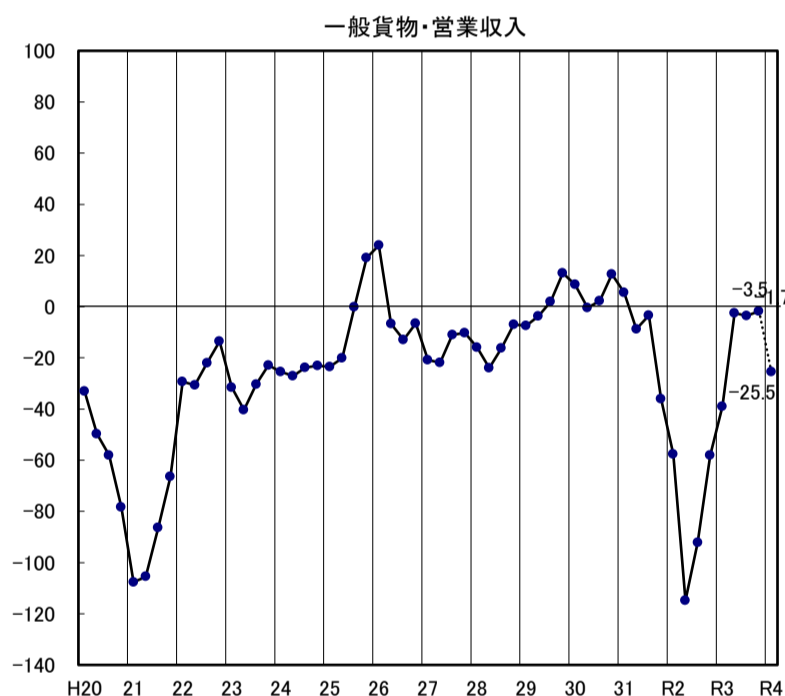
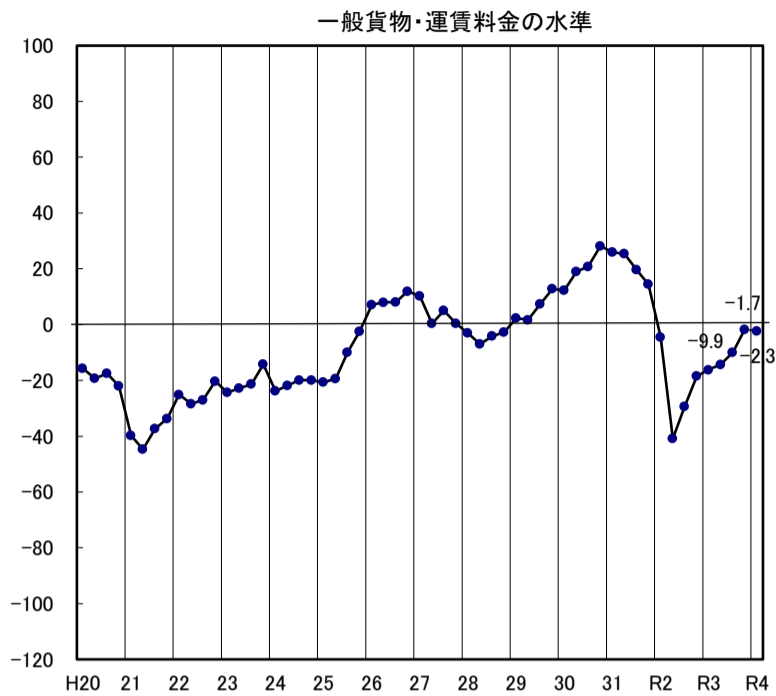
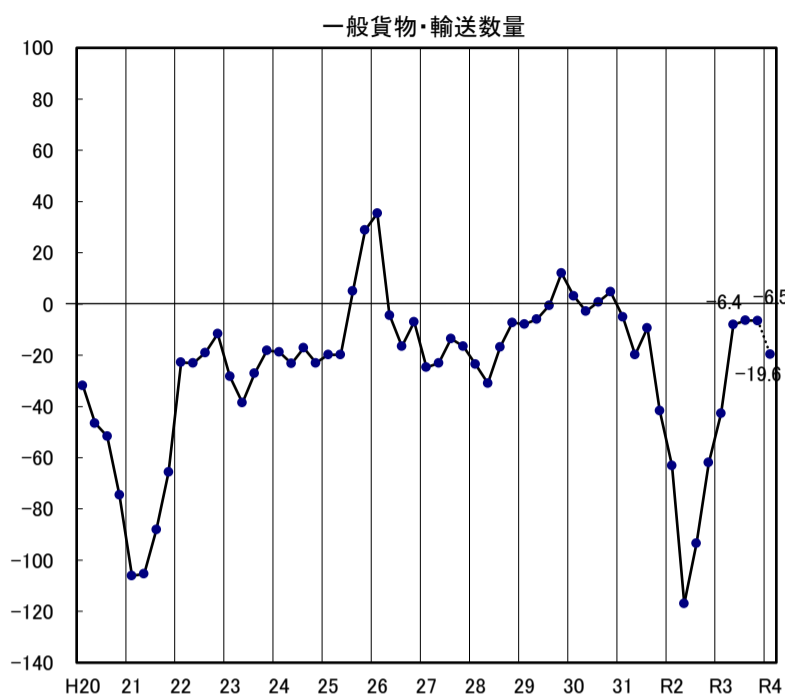


業界の景況感



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和3年度第4四半期見通し)

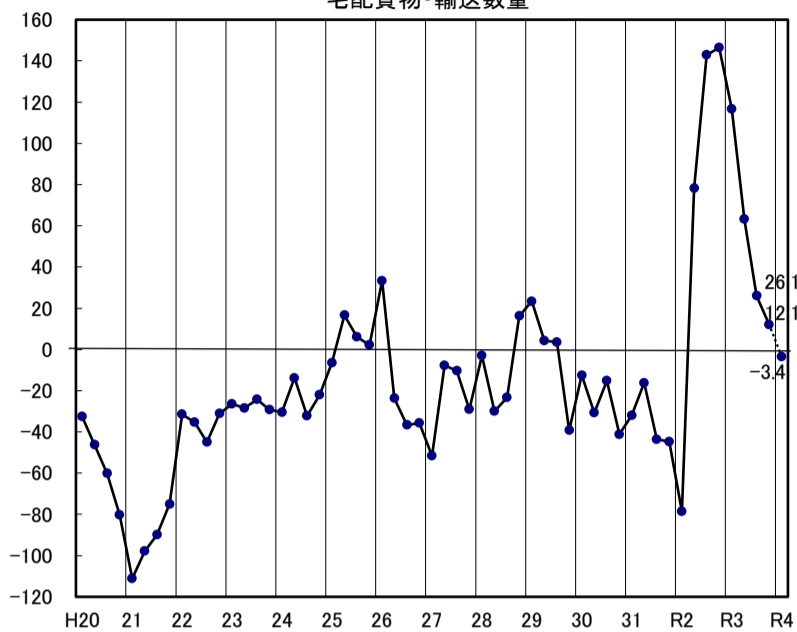
一般貨物



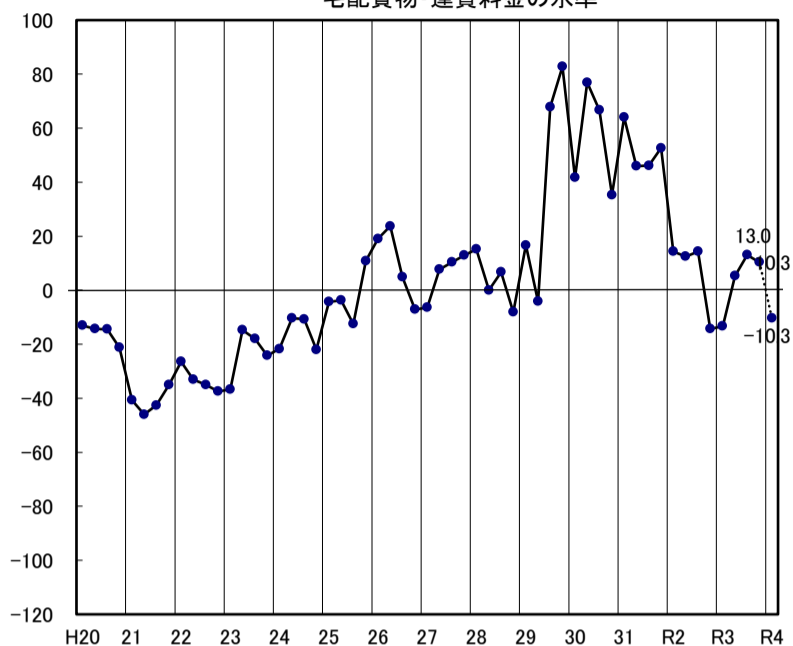
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和3年度第4四半期見通し)

宅配貨物

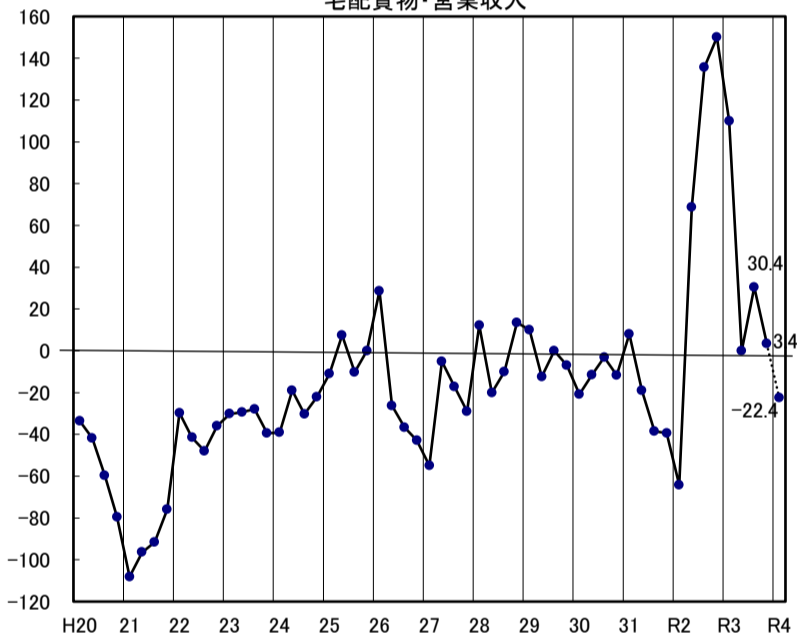
宅配貨物・輸送数量



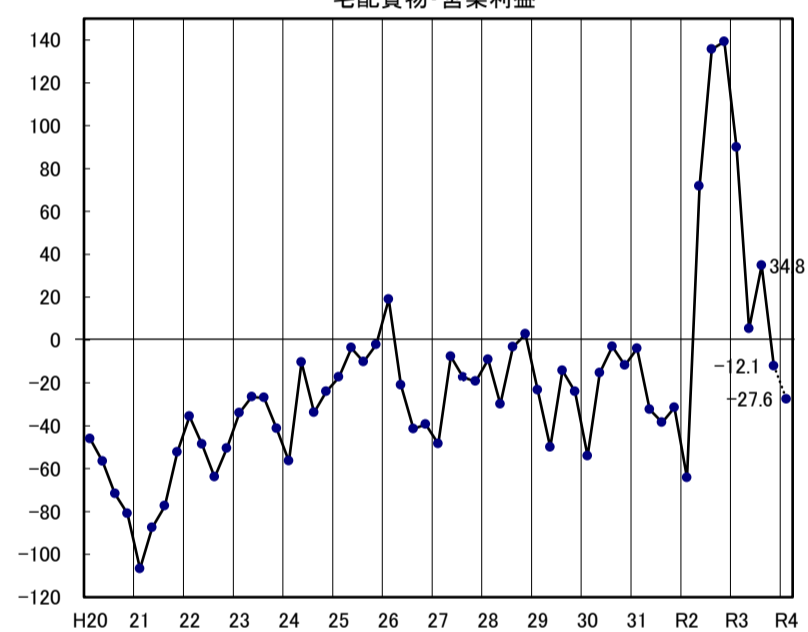
宅配貨物・運賃料金の水準



宅配貨物・営業収入



宅配貨物・営業利益



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和3年度第4四半期見通し)

宅配以外の特積貨物

